

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-23 鎌倉芸術館管理運営事業 □支援部門								
主管課	文化人権推進課	関連課							
分野名	文化								
目標 (目標値)	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を発揮できるよう指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行うとともに、施設・整備の修繕実施により予防保全を図るため。 施設利用率 85%、利用者年間数 600,000人								
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考				
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯					
運営資源状況	事業の対象者数								
	決算値(千円)	308,496	316,469	323,366					
	(国・県)								
	(負担金等)	4,801	5,164	5,544					
	(一般財源)	303,695	316,469	317,822					
	人員配置数	2.0	2.0	2.0					
	人件費(千円)	16,024	16,855	16,737					
事務事業運営経費	協働のパートナー								
	総事業費(千円)	324,520	333,324	340,103					
	市民1人当りの経費(円)	1,831	1,881	1,920					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	藤沢市		
	利用率(%)	89.8%	65.8%(大H)	75.1%(大H)	76%(大H)	86.6%(大小)	75.3%(大H)		
	利用者数(人)	527,278人	248,610人	171,189人	159,770人	214,540人	370,219人		
	開館日数(日)	330	307(大H)	257(大H)	263(大H)	260(大H)	295(大H)		
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)		
施設利用率(目標85%)	◎	目標値	85%	85%	85%	85%	85%		
		実績値	89.0%	89.0%	88.1%	89.8%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
鎌倉芸術館管理運営事業	308,496千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	施設の管理運営業務を指定管理者へ委託する他、芸術館用地の賃借などの業務を行う。芸術館の舞台、照明設備及び空調設備等について、予防保全等のための修繕を実施する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的展望に立った大規模修繕計画を作成し、実施に向けた具体的な道筋を付ける必要がある。 ・利用頻度の高い備品について、修繕等の検討をする必要がある。 ・公正性・公平性を高めるため、学識経験者等、外部の委員による評価制度について検討する必要がある。 	
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急度を見極めながら、計画的に必要な修繕を行った。 ・備品修繕等の検討を行ったが、財政事情から修繕や購入するまで至らなかった。 	取組の結果 □解決 ■未解決
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休館を必要とする大規模修繕について、実施時期、実施方法等、具体的な方策を確定させることができなかった。 ・利用者ニーズの高い備品の修繕、購入を計画的に行っていく必要がある。 ・関係課と連携しながら、外部の委員による評価制度の導入を進めていく必要がある。 	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		<ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理期間(H28年度以降)に全館休館の想定を含め、民間資金の活用と長期的展望に立った大規模修繕計画の検討を行う。 ・地域の優れた芸術文化の創造・発信の場として、外部評価制度の導入も踏まえ、さらに有効かつ効率的な運営に努めていく。 	課長等名	
		③有効性 ○			↓ B	文化人権推進課長
		④公平性 ○				青山 陽子

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
鎌倉芸術館管理 運営事業	主な 個別 事業	469 事務補助嘱託員報酬	2,057	2,056	○	○	○	○
		469 事務補助嘱託員費用弁償	124	113	○	○	○	○
		469 舞台設備等修繕	33,000	31,500	○	○	○	○
		915 空調設備等修繕	10,000	9,975	○	○	○	○
		469 音響備品修繕	200	147	○	○	○	○
		469 電信料	463	463	○	○	○	○
		469 指定管理料	199,800	199,800	○	○	○	○
		469 芸術館用地賃借料	43,260	42,805	○	○	○	○
		469 電子計算機材等賃借料	6,000	5,974	○	○	○	○
		469 ギャラリー備品購入	300	271	○	○	○	○
		469 芸術館施設利用料等減免負担金	12,000	13,918	△	○	○	△
		469 指定管理者リスク分担金	6,432	1,238	○	○	○	○
			主な 個別 事業					
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							